会議結果報告書

1　会議名	ごみ処理に関する課題についての意見交換会（芹沢細谷紺屋村自治会）
2　日時	平成30年7月1日（日）10：00～11：00
3　場所	芹沢細谷紺屋村自治会館
4　出席者	（資源循環課）熊澤課長、下舞主任 （環境事業センター）広田主幹 （芹沢細谷紺屋村自治会）参加人数：34人
5　内容	本市のごみ処理に関する課題について意見交換会を実施した。会議の主な質問と意見は次のとおりであった。 ●焼却炉の修理費用はどのくらいになるのか。 →はっきりとした額は分かっていないが、建替えの場合は約160億円が必要になる見込みである。 ●ごみの有料化を実施した結果、ごみが減ったら無料化に戻す予定はあるのか。また、ごみを減らせた地域は無料化にする等は考えているのかどうか。 →ごみの有料化は検討段階であるが現段階では無料化に戻す等の予定はない。茅ヶ崎市は藤沢市と同様にごみが減っている状況であるが2033年度以降の灰の全量資源化など財政的に厳しくなることが想定されている。 ●ごみ袋を購入してごみを出すようになるのか。また、北部は不法投棄が多いので対策などは考えているのかどうか。 →ごみの有料化の方法は大きく分けて二つある。一つ目はごみ袋を購入する方法である。二つ目はシールを購入し袋に貼る方法であるが一つ目のごみ袋を購入する方法が多くの自治体で採用されている状況である。不法投棄の対策は他市町村の事例を参考に検討中である。 ●燃やせるごみと燃やせないごみ等は寒川町も環境事業センターで焼却処理を行っている。寒川町もごみの有料化を行わないと不公平ではないか。 →寒川町はすでにごみの有料化を行っている状況である。 ●ごみ袋代はいくらかかるのか。 →2円/Lのごみ袋がごみの減量に適している。45Lのごみ袋で90円になる。 ●資源物も有料になるのか。 →資源物は今まで通りの予定である。 以上